

1

1億年の 大地の記録

1億年という時間をかけて形成された堆積岩や、
火山のマグマが冷え固まってきた火成岩など、
地球の営みを感じるジオサイトを紹介します。

天草地域の地層を見るポイント

天草の各地域では、恐竜の繁栄と絶滅が見られた白亜紀から、
人類が現在とほぼ同じ状態まで進化する第四紀まで、幅広い地質
時代の地層を観察することができます。地層によって「御所浦層
群」「姫浦層群」「坂瀬川層群」など名前が付いていて、各地域でそ
れぞれの地層が露出しているところが見られます。地層の名前を
意識することが、天草の地質・地形を理解するポイントです。



3

1 高空島



上天草市の北部には、約300万年前に噴火したと
される小火山が見られます。その中の高空島では、
(*角閃石を多く含む)安山岩から成り、島の形の
美しさから天草富士とも呼ばれています。

*角閃石:火山の岩中に含まれる鉱物、細長い柱状からつぶれた六角形の形をしている。
*安山岩:地表に出てきたマグマが冷え固まった岩石のひとつ、灰色の岩石。

2 祝口観音の滝



教良木ダムに注ぎ込むなめ滝。滝周辺では白岳層の砂岩
と滝の斜面が同じ傾きでほとんど直線的な水の流れで
す。岩石が硬く、浸食があまり進まないので滑り台のよ
うですが、近くと大小の(*ボットホール)が見られます。

*ボットホール:川底や川岸の岩石の上にできる円形の穴のこと。
かめ穴ともいう。

4 横浦島の不整合露頭



白亜紀の深い海の底で堆積した姫浦層群が、その後の地
殻変動によって隆起し、地表に現れ、この時の浸食によっ
て不整合面がつくれました。恐竜時代の地層とほ乳類
時代の地層が(*不整合)で接する地層を観察できます。

*不整合:上下に重なる2つの地層に大きな時間の隔たりがあり、互い
に調和していないこと。

5 小ヶ倉観音



大きな一枚岩に書き込まれた四文字の(*梵字)
(ぼんじ)は、1467年のもの。この場所は、観音さ
まで信じる心が大切に守られている証です。一枚
岩は倉岳山頂にも通じるマグマ由来の岩盤です。

*梵字:仏教とともに中国を経由して伝來したラーフミー文字の一種。

6 リップルランド



約4,500万年前に海底で堆積した教良木層の黒
色の泥岩と砂岩が交互に重なり合う地層が見ら
れます。有明海では、約140万年から70万年前の
ゾウやシカの化石が漁師の網に引っ掛かることも
あります。

7 黒崎海岸

所在地 天草市五和町 分類 第四紀の地層



天草を構成する最も新しい第四紀佐伊津層が分布。
この地で採石・加工されている御領石や灰岩は、約
9万年前に大規模な噴火を起こし、天草まで到達した
阿蘇火山の(*火碎流堆積物)の溶結凝灰岩です。

*火碎流:火山の噴火などによって生じる気体と固体粒子からなるもの。

*溶結凝灰岩:火山灰が堆積した際に熱と重さでできたレンズ状の黒曜石が見られる岩石。

8 おっぱい岩

所在地 天草郡苓北町 分類 坂瀬川層の(*ノジュール)

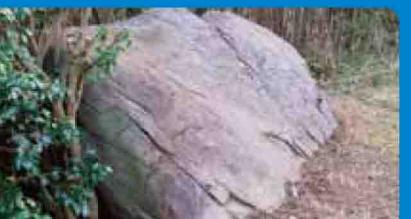


女性の乳房の形に似ていることから「おっぱい岩」と
呼ばれている海岸に転がる大きな岩。西川内
の海岸に露出する坂瀬川層の中にあった硬い塊が、
風化・浸食によってできたものです。

*ノジュール:堆積物中に含まれるさまざまな形をした硬化部のこと。

9 花岡閃緑岩

所在地 天草郡苓北町 分類 (*貫入岩)

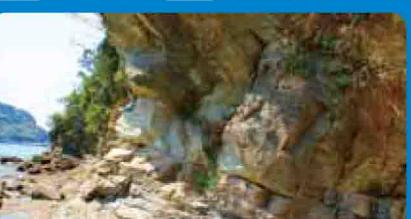


富岡半島の約4分の1の面積を占めて分布する岩石。約1,900
万年に形成されたものであり、富岡城はこの岩石の風化・浸
食によって残された高台に建っています。富岡城下の堀の
脇に露出する岩塊は、間近に確認できる貴重なスポット。

*貫入岩:もともとあった岩石や地層に、地下からマグマが貫入して冷え
固まったもの。

10 長崎變成岩(高浜變成岩)の露頭

所在地 天草市天草町 分類 白亜紀以前の變成岩



白亜紀以前の(*变成岩)と見られ、長崎県の野母崎
半島と地質的に関係の深い地層。天草町高浜から
大江にかけて分布し、天草地域で唯一、典型的な
变成岩の分布地域でもあります。

*变成岩:岩石や地層が熱や圧力によって岩石の構造や構成する鉱物
が変化したもの。

11 下須島小森の潮汐堆積物

所在地 天草市牛深地域 分類 始新世の地層



約5,000万年前に堆積した始新世の(*潮汐堆
積物)の観察ができます。堆積物に残された潮汐の
リズムを見ることができる貴重な場所です。

*潮汐堆積物:海の周期的な干満によってできた堆積物のこと。

13 だご石

所在地 上天草市松島町 分類 始新世の地層

島原半島とのつながりを示す海成層と約82万年
前に噴出した玄武岩が分布。貝類化石が多く産出
します。

16 下浦石の露頭

所在地 天草市下浦町 分類 始新世の地層

この露頭に見られる砂岩は古くから採石され、天草
の産業のひとつでもありました。自然な露頭として
観察できる貴重な場所です。

19 安山岩の採石場跡地

所在地 天草市有明町 分類 新生代中新世の安山岩質貫入岩

切りたたずの掘削面を残した採石場跡地。大変硬い
岩石で、(*クラッシュヤー)などの石材として利用
されていました。

*クラッシュヤー:細かく砕かれた岩石のこと。駐車場や線路などに見
られる。

18 天附の海緑石砂岩

所在地 天草市新和町 分類 始新世の地層

海緑石を多く含む砂岩で、貝類化石が産出すること
でも知られています。炭鉱産業が盛んな頃は、炭層の
(*鍾乳層)として利用されていました。

*鍾乳層:地層の年代を特定するために用いられる特徴的な層のこと。

20 鬼の城公園

所在地 天草市五和町 分類 (*凝灰角礫岩・信仰)

むきだしの凝灰角礫岩の一部が帯状に削られ、そこ
に石仮110体が安置されています。この帯状の窪地
は地元では大蛇が通った跡といわれています。

*凝灰角礫岩:溶岩の岩片が含まれた火山灰が堆積して固まったもの。

21 権現山玄武岩と坂瀬川層

所在地 天草市牛深地域 分類 玄武岩と化石

権現山の山頂では、天草地域の火山岩石で分布の
少ない(*玄武岩)を観察できます。また、中腹では
化石も産出します。

*玄武岩:地表に出てきたマグマが冷え固まった岩石のひとつ。黒色の
岩石。

地質時代とは?

地球誕生から人類の歴史以前の
時代のことを地質時代といいます。
地球の約46億年の年齢から
考えると、人類の歴史はわずか
0.1%未満なのです。

地質年代表

古生代		中生代		新生代			
	三疊紀	ジュラ紀	白亜紀	古第三紀	新第三紀	第四紀	
(万年前)	2億5,100		1億4,550	6,550	5,580	3,390	2,300
				533	258		

4